



イヌイットの子どもたち=カナダ・ケベック州イヌクジュアク村、彫刻の写真以外どれも筆者提供

アイスホッケー好き
彼らはわれわれと同じよ
うな生活をしながら、昔ながらの活動を続けています。
彼らは休みの日には、動物や魚をとりに行きます。
一日の仕事が終わつた
自宅でテレビやビデオ、ゲームを楽しみます。とくに、イヌイットはアイスホッケーをするのも見るのは大好きです。
20世紀に入りヨーロッパ人との接触がひんぱんになると、イヌイットの生活は大きく変わりました。とにかく1960年ごろになると彼らは移動生活をやめ、村に住むようになりました。そして現では多くのイヌイットは村の中にある学校や病院、お店、村役場で仕事をしています。また、彫刻や版画などアート作品を作っている人もいます。夜には家族や友人と過ごす。よるには家族や友人と一緒に活動を楽しめます。

寒い地域で4千年前から狩猟生活



ケベック州アクリヴィク村の冬景色



国立民族学博物館で展示されているイヌイットによる石彫刻(ホッキョクグマ)

しゆりょうせいかつ



湖の上で網漁をして魚をとります



子どもたちは学校でイヌイット語を学びます

カナダの北の方には、冬には海が凍りつき、大きな氷原ができる地域があります。冬の気温はマイナス25度以下になり、背の高い木は育ちませ

んはるか北にあるため、

夏は日が長く、冬は日が短くなります。

海にはアザラシやクジ

ラ、セイウチ、ホッキョ

クイワナなどさまざま

な動物や魚が生息し、陸に

はカリブー(野生トナカ

イ)などがいます。また、

ハクガンやカモといった

鳥もやってきます。生き

物にとつて極北地域は楽

園です。

北の自然は人間が生

活しています。

は生き

る

約4千年前から住んでいます。彼らは、冬には海上の氷原でイグルー(雪の家)に住みながらきました。彼らは、冬には沿岸部や内陸部に移動し、ホッキョクイワナやカリブーを取りました。それ皮製テントに住みながら、アザラシをとり、夏には鳥の皮で衣類やテントを作ることによって、寒い所で暮らすことができました。そして食べ物が少くない時には、キヤンプ生

するには大変きびしいの

にもかかわらず、イヌイ

ットと呼ばれる人びとは

4千年前から住んで

いた。彼らは、冬には

鳥の皮で衣類やテントを作ることによって、寒い

所で暮らすことができま

した。そして食べ物が少く

ない時には、キヤンプ生

活をともにする家族や仲間と一緒に肉や脂身を分け合つて食べました。

アザラシをとり、夏には

鳥の皮で衣類やテントを作ることによって、寒い

所で暮らすことができま

した。そして食べ物が少く

ない時には、キヤンプ生

活をともにする家族や仲

間と一緒に肉や脂身を分け合つて食べました。

アイ? / ハヌイッピ?

(こんなにちは)

せんじゅみんぞくを知ろう^②
文・岸上伸啓
(国立民族学博物館教授)



イヌイットのあいさつ

アイ? / ハヌイッピ?

【国立民族学博物館】大阪府吹田市にある博物館・研究所。さまざまな民族の衣服や楽器、工芸品などの資料を展示している。文献も含め収蔵資料は100万点以上。アイヌ民話人形劇「ふんだりけったりクマ神さま」が12月3日に同館で上演。